

災害なんかに負けない地域をつくろう！

北区六郷学区 震災避難行動マップ

この震災避難行動マップは、名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」をもとに、大規模地震が発生した場合を想定して、六郷学区のみなさんが、お住まいの地域の危険箇所などについて話し合い、作成したものです。
この震災避難行動マップをもとに、「いざ」という時どんな行動をとればよいのか日頃から考えておきましょう。

パソコンやスマートフォンでも
防災マップを見ることができます。

<http://www.platform.or.jp/map/sp/4/164/>



役に立つもの

地下式給水栓

地下式給水栓は、災害時に地域のみなさんが自ら操作をしていただくことで、飲料水を確保することができる災害用のじゃ口です。



下水道直結式仮設トイレ

マンホールに直結できる仮設トイレです。
避難所のトイレ不足を補います。



コンビニエンスストアなど



このステッカーの貼ってある店舗は、「災害時帰宅支援ステーション」として、公共交通機関が不通となったとき、徒歩で帰宅しようとする人たちを支援する店舗です。トイレや避難スペースの提供など災害時に可能な範囲で支援協力が得られます。

地域防災協力事業所

災害時に地域に対して支援協力してくれる事業所です。

公衆電話

NTTが設置する公衆電話は、災害時には優先的につながり、状況に応じて無料になります。ただし、国際電話は使えません。

自治会・町内会の一時集合場所
自分の自治会・町内会の集合場所を
記入しておきましょう

ファミリーマート
みのてつ彩紅橋店
一時避難場所

合資会社
三村自動車工業所
一時避難場所

①六郷小学校

（株）名鉄AUTO
資器材等

②六郷コミュニティ
センター

ファミリーマート
東大曽根店
一時避難場所

としわ会北区
複合型介護施設
一時避難場所

阿弥陀院 円満寺
一時避難場所

指定緊急避難場所・指定避難所

指定緊急避難場所…命を守るため、災害の危機からまずは逃げるための場所

指定避難所…自宅が被災して帰宅できない場合、一定期間、避難生活をおくるためのところ

施設名所	所在地	指定緊急避難場所				指定避難所
		洪水・内水氾濫	高潮	地震の揺れ	大規模な火事	
①六郷小学校	大曽根3-15-82	2階以上	2階以上	グラウンド	×	○
②六郷コミュニティセンター	大曽根3-15-90	2階以上	2階以上	×	×	○

※大規模な火事が発生した場合は、広域避難場所に避難しましょう。

気を付けて!!

1. 空き家

耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険あり

2. 古いブロック塀

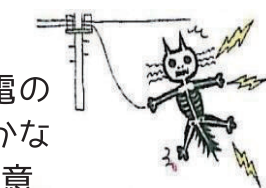
大きな地震では倒壊する危険があるため近づかない

3. 狭い道

近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通りにくくなる可能性あり

4. 電線(高圧線)

切れた電線は停電時でも感電の危険があります。絶対に近づかない。また、高圧線の落下にも注意



5. 瓦屋根

大きな揺れの際には危険。瓦屋根のある家屋に住んでいる人は、あわてて外に飛び出さない

●凡例

集 一時集合場所	大きな災害がおこった時、地域での安否確認や情報収集、初期消火・救助活動などの指揮場所です。
指定緊急避難場所 (洪水・内水氾濫)	指定緊急避難場所 (高潮)
指定緊急避難場所 (地震の揺れ)	地域防災協力事業所
指定避難所	下水道直結式仮設トイレマンホール
公衆トイレ	AED (自動体外式除細動器)
公衆電話	消防ポンプ庫
地下式給水栓	消火器
応急給水施設	スタンドパイプ (消火栓直結型ホース)
--- 学区境	

知っておこう 道路閉塞率について

南海トラフ巨大地震の名古屋市の被害想定(あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震)をもとに、地震の揺れによって建物が倒壊し、道路がふさがって通れなくなる可能性を評価したもの。

※液化化を考慮して計算された建物の全壊率から、沿道の各建物高さ(歩いて避難する場合には、最低2mの道路幅が必要と設定)を考慮して、道路が閉塞する確率を算出。
出典：震災に強いまちづくり方針

40~70%のエリア

この想定はあくまで一定のデータ・条件をもとに統計的に算出されたものであり、想定にとらわれすぎないように注意しましょう。

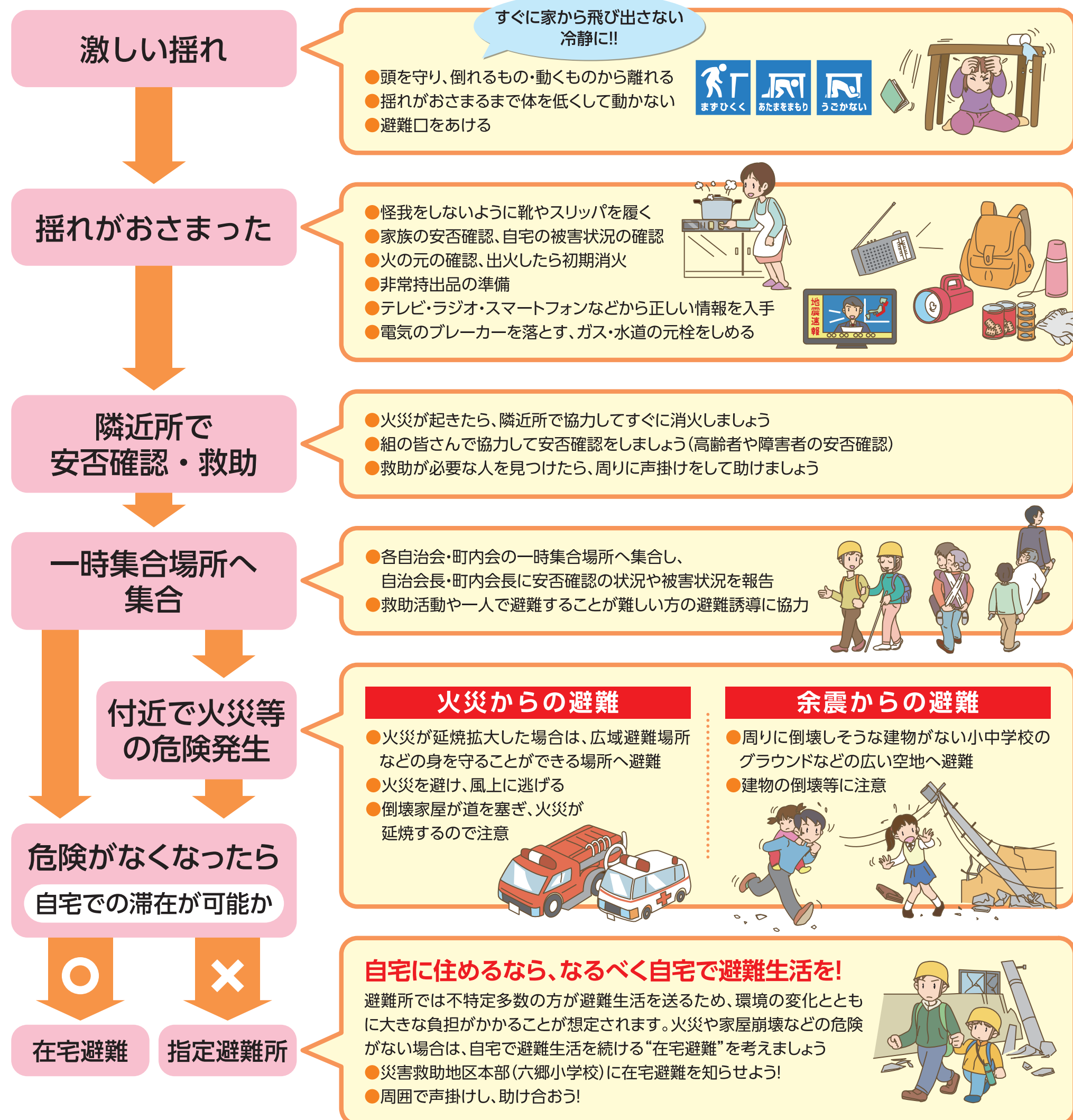
北区六郷学区 災害時の特性と対策

六郷学区では、**震度6弱から6強**の揺れが起こる可能性が想定されています。まずは身を守りましょう。そのため、日ごろから家具の転倒防止などの耐震対策を実施しましょう。

火災が発生した場合は、燃えて倒壊する建物が道を塞いだり、強い熱風が吹き荒れる懸念があります。

また、**液状化現象**が起こる可能性が高い箇所もあり、建物が傾いたり、泥水が溢れだし道を通ることができなくなる可能性があります。これらのことを踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

地震発生！ 災害時の対応



一人では逃げられない方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、下記のような高齢者や障害のある方などの避難行動を早めました。**日ごろから地域でお互いに顔の見える関係を構築し、地域みんなでいち早く避難行動がとれるよう協力しましょう。**

情報の入手や判断が難しい方

例えばこんな方

目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障害のある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

対応方法



移動が難しい方

例えばこんな方

普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど

対応方法



住民からの メッセージ



学区の訓練に
一緒に参加し
ましょう

日頃からのつ
ながりを大切
にしましょう



断水に備えてト
イレ対策もして
おきましょう



災害に備えていますか？

備品・非常持出品の準備

いざという時すぐに持ち出せるよう、非常持出品を準備しておきましょう!

【備蓄品の例】 災害に備えて用意しておきたいもの

7日分の備蓄の内 3日分は非常持出にしましょう

命をつなぐために 用意しておきたいもの

- ☐ 保存がきく食品
(自分が食べやすいもの)
- ☐ 常備薬(持病の薬を含む)
- ☐ 飲料水(ペットボトル)

1人1日3リットルが目安です。また、水分の多い食品(ゼリーなど)と組み合わせることで量を減らすことができます。

生活用品

- ☐ 携帯トイレ
- ☐ ゴミ袋
- ☐ 新聞紙
- ☐ ティッシュ
- ☐ 手動式
電話充電器

医療用品

- ☐ 三角きん
- ☐ 包帯・ガーゼ
- ☐ 消毒液
- ☐ ウェットティッシュ

照明等

- ☐ 懐中電灯(電池含む)
- ☐ マッチ・ライター

寝具等

- ☐ 毛布
- ☐ 寝袋

防災用品

- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ ヘルメット
- ☐ 防災ずきん
- ☐ 軍手
- ☐ マスク

避難所には
収容人数の3日分
しか備蓄が
ありません!